

豊岡市地域医療計画（案）に対する意見の募集結果と市の考え

1 意見募集の実施状況

- (1) 意見募集期間 2026年2月27日（金）～3月12日（木）
- (2) 公表資料の閲覧方法
 - ア 市ホームページ掲載
 - イ 文書閲覧
 - (ア) 健康増進課
 - (イ) 各振興局市民福祉課
- (3) 意見提出者数 3人（10件）

2 意見の概要及び意見に対する市の考え

No.	掲載頁	意見の概要	意見に対する市の考え
1	第3章 豊岡市の医療需要及び医療提供体制の現状・見通しと課題	<p>婦人科領域については、診療科目分類で産婦人科系が1施設にとどまり、供給体制の脆弱性が特に高いことが読み取れます。</p> <p>また、医療機関向けアンケート結果により、市内民間内科診療所は、診療所数の減少が見込まれるとともに、後継者不在または確保困難とされています。需要減少以上に供給縮小が進む可能性があり、婦人科は特に影響を受けやすい分野です。</p> <p>計画本文において婦人科を「供給脆弱分野」として明示的に位置付けることを求めます。</p>	<p>婦人科を含め、診療体制が限られる分野における受療機会の確保は重要であると認識しています。</p> <p>一方、本計画は、特定の診療科ごとに個別の位置付けを行うものではなく、市全体の医療提供体制の現状・課題と方向性を整理するものです。</p> <p>そのため、婦人科医療についてご提案のような個別の位置付けを明記することは行いませんが、本市の医療の現状を踏まえつつ、医業開設・承継支援策や医療従事者の確保・育成と定着支援に関する調査・研究や必要な検討を進める中で、診療体制が限られる分野を含めた地域医療全体の維持・確保に努めてまいります。</p>

No.	掲載頁	意見の概要	意見に対する市の考え
			<p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>第4章 4.2 方針1：医療提供体制の維持・確保（承継・人材・予防）／4.3 方針2：安全・安心な受療機会の確保</p>	<p>婦人科の受診導線について、相談から初診、紹介、緊急時対応、継続フォローまでの流れを、市民に分かる形で明文化することを提案します。特に、地域差や移動負担も踏まえ、どの地域からどの医療機関へ、どのような条件で受診できるのかを整理することが重要です。</p> <p>受診導線が不透明なままでは、受診控えや市外流出が進む恐れがあります。</p> <p>計画本文に導線図または整理項目の明記を求めます。</p>	<p>市民が安心して適切に受診できるよう、分かりやすい情報提供を行うことは重要であると認識しています。</p> <p>一方、受診の流れや受入条件は、症状や受診目的、医療機関の体制等により異なるため、本計画本文において、詳細な導線図等を明記することはありませんが、受診に関する情報提供については、関係機関と連携しながら努めてまいります。</p> <p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>第4章 4.2 方針1：医療提供体制の維持・確保（承継・人材・予防）</p>	<p>婦人科は担い手が限られるため、常勤医の誘致だけでなく、定期非常勤外来、出張外来、共同利用型拠点などを組み合わせた外来機能の確保策を明示してください。</p> <p>また、開設初期の運営支援やスタッフ確保支援を含めた具体的な枠組みを計画に位置付けることを求めます。</p>	<p>婦人科を含め、担い手が限られる分野における受療機会の確保は重要であると認識しています。</p> <p>一方、ご提案の定期非常勤外来、出張外来、共同利用型拠点などの手法は、医師の確保や派遣体制、関係医療機関との連携の在り方など、個別具体の運営体制に関わる内容であり、場合によっては豊岡市医師会、公立豊岡病院組合や市外医療機関を含む広域的な調整を要するもので、本計画で個別に位置付ける内容にはなじまないと考えます。</p> <p>そのため、婦人科医療についてご提案のような個別の位置付けを明記することはありませんが、本市の医療の現状を踏まえつつ、医業開設・承継支援策や医療従事者の確保・育成と定着支援に関する調査・研究や</p>

No.	掲載頁	意見の概要	意見に対する市の考え
			<p>必要な検討を進める中で、診療体制に限られる分野を含めた地域医療全体の維持・確保に努めてまいります。</p> <p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>第3章 3.3 オンライン診療の現状／ 第4章 4.5 方針4：オンライン診療の基盤整備と普及</p>	<p>オンライン診療については、市外医療機関の利用が増加する一方、市内医療機関での利用は減少傾向にあります。</p> <p>婦人科の受診機会確保の観点から、オンライン診療を対面診療の補完として位置付け、継続フォロー等で市内医療機関が活用できるよう、運用支援や周知などの条件整備を計画に明記すべきです。</p> <p>市内医療維持に資する戦略的な位置付けを行うよう求めます。</p>	<p>オンライン診療については、対面診療を基本としつつ、その補完として活用することが重要であると認識しています。一方、本計画は、特定の診療科や医療機関について、個別の活用方法や条件整備を詳細に位置付けるものではなく、市全体の医療提供体制の現状・課題と方向性を整理するものです。</p> <p>そのため、婦人科に特化した条件整備や、市内医療機関ごとの具体的な活用方法を個別に明記することは行いませんが、オンライン診療については、計画の方向性に基づき、対面診療を補完する手段として、地域医療全体の受療機会の確保につながるよう取り組んでまいります。</p> <p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>第1章 計画の概要／第4章 4.1 基本方針の体系と全体像</p>	<p>婦人科医療は、女性の健康管理にとどまらず、地域の生活の質、移住・定住促進、子育て支援、少子化対策にも関わる重要な分野です。</p> <p>市内に専門的な無床婦人科クリニックがほぼない現状を踏まえ、婦人科医療を「生活基盤インフラ」とし</p>	<p>婦人科医療を含め、女性の健康や安心して暮らせる生活環境を支える医療の確保は重要であると認識しています。</p> <p>一方、本計画は、特定の診療科を「生活基盤インフラ」や優先的に取り組む課題として個別に位置付ける</p>

No.	掲載頁	意見の概要	意見に対する市の考え
		<p>て位置付け、受診機会の維持確保に優先的に取り組む課題として明記することを要望します。</p>	<p>ものではなく、市全体の医療提供体制の現状・課題と方向性を整理するものです。</p> <p>そのため、婦人科医療についてご提案のような個別の位置付けを明記することはありませんが、本市の医療の現状を踏まえつつ、医療提供体制の維持・確保や安全・安心な受療機会の確保に向けた取組を進める中で、診療体制が限られる分野を含めた地域医療全体の維持・確保に努めてまいります。</p> <p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>第4章 4.7 想定される対応策の実施時期の整理（タイムスケジュール）／ 第5章 計画の推進体制</p>	<p>婦人科医療については、供給体制の脆弱性が特に高いことから、抽象的な方向性にとどまらず、進捗管理が可能な数値目標や評価指標を設定すべきです。</p> <p>例えば、婦人科外来機能の年間確保日数、非常勤・出張外来の実施回数、市内完結率の推移、受診待機期間の目安、受診導線周知率などを明記し、計画期間中の中間検証において重点分野として個別評価を行う体制を明確にすることを求めます。</p> <p>方向性だけでなく、達成状況を確認できる設計とすることで、計画の実効性が高まると考えます。</p>	<p>計画の実効性を高めるため、進捗状況を確認しながら取組を進めることは重要であると認識しています。</p> <p>一方、本計画は、市全体の医療提供体制の現状・課題と方向性を整理するものであり、特定の診療科を重点分野として個別に数値目標や評価指標を設定するものではありません。</p> <p>また、ご提案の指標には、医療機関ごとの運営状況や受入体制、関係機関との調整状況などに左右されるものも含まれており、市が本計画の中で個別に管理・評価する内容にはなじまないものと考えます。</p> <p>そのため、婦人科医療についてご提案のような数値目標や評価指標等を明記することはありませんが、計画に位置付けた取組を進める中で、地域医療全体の維持・確保に努めてまいります。</p>

No.	掲載頁	意見の概要	意見に対する市の考え
			<p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>第3章 豊岡市の医療需要及び医療提供体制の現状・見通しと課題／第4章 4.1 基本方針の体系と全体像</p>	<p>本計画では高齢者医療需要の分析は詳細に整理されていますが、女性のライフコース全体を通じた婦人科医療の位置付けが十分ではありません。</p> <p>婦人科医療は、思春期、更年期、高齢期など各ライフステージで異なるニーズがあることから、年齢階級別医療需要分析の中に女性特有疾患の視点を補強し、ライフステージ別の課題整理を明記することを提案します。</p> <p>とくに、若年・子育て世代の受診環境確保は、人口減少対策や定住促進とも強く連動します。</p> <p>婦人科医療を「高齢者中心の需要構造」の補助的分野としてではなく、「女性の生涯健康を支える基盤医療」として明確に位置付けることを求めます。</p>	<p>女性の健康を支える医療の確保は重要であると認識しています。一方、本計画は、特定の診療科について、ライフステージ別の需要分析や個別の位置付けを示すものではなく、市全体の医療提供体制の現状・課題と方向性を整理するものです。</p> <p>そのため、婦人科医療についてご提案のような課題整理や位置付けを個別に明記することはありませんが、女性の健康を含め、市民が必要な医療を受けられる環境の維持・確保に向けて、計画に位置付けた取組を進めてまいります。</p> <p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>第4章 4.7 想定される対応策の実施時期の整理（タイムスケジュール）</p>	<p>高齢者は医療と介護をあわせて必要とする場合が多いため、医療人材の普及啓発・育成・確保に取り組む際には、医療系専門職だけでなく介護系専門職についても、担当課を超えて連携しながら普及啓発・育成・確保を進めることを求めます。</p>	<p>市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医療と介護の連携が重要であると認識しています。</p> <p>本計画は、「豊岡市老人福祉計画・介護保険事業計画」等の関連計画とも整合性を図りながら推進することとしており、関係課と連携しながら取組を進めてまいります。</p>
9	<p>全体</p>	<p>計画の進捗や取組内容について、市民や関係者への啓発・情報発信を積極的に進めることを求めます。</p>	<p>計画の推進に当たっては、市民の皆さんや医療機関等の関係者の理解と協力が重要であると認識してお</p>

No.	掲載頁	意見の概要	意見に対する市の考え
			<p>り、計画の進捗や取組内容について、分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p>
10	<p>第4章 4.6 方針5：市立診療所の持続可能性の確保</p>	<p>病院がない地域における診療所の必要性は理解できませんが、但東地域には医科診療所が3施設あり、うち市立医科診療所が2施設あるなど、相対的に手厚い状況にあります。他地域との均衡、利用者数の減少や赤字の拡大を踏まえると、「適宜見直す」とどまらず、但東地域は早期に1か所へ集約する方向で見直すべきと考えます。</p>	<p>市立医科診療所については、地域の受療機会と医療の質・安全を確保しつつ、医療需要の変化や民間医療機関との役割分担等を踏まえ、機能や体制の在り方を検討することとしており、特に医療需要の減少が大きい但東地域については先行的に検討することとしています。</p> <p>診療所数を含む具体的な配置・体制については、地域の実情、利用状況、医師確保が一層困難となっていること、受療機会への影響、移動負担、在宅医療への影響等を踏まえ、関係者と協議しながら慎重に判断してまいります。</p> <p>ご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>